

# 障害福祉サービスセンターほほ笑み

児童発達支援・放課後等デイサービス



## 【支援プログラム】

障害福祉サービスセンターほほえみでは、個別支援計画を作成し、5領域に基づく以下の支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。



本人支援は（ア）健康・生活 （イ）運動・感覚（ウ）認知・行動 （エ）言語・コミュニケーション（オ）人間関係・社会性の5領域にまとめられ、5領域の支援内容はお互いに関連したり、重なりあっています。本人支援の大きな目標は障害のある子供が将来、日常生活や社会生活を円滑に営める要にするものです。

### （ア）健康・生活

- ・心身の健康状態の把握（来所持の体温測定・支援中の健康観察 等）
- ・生活リズムの安定（定時に行う活動・長期休暇時の規則正しい生活の維持 等）
- ・構造化を意識した環境設定（絵カードなどを使った具体的な表示 等）
- ・基本的な生活スキルの獲得（買い物学習・トイレトレーニングや食事の支援 等）

### （イ）運動・感覚

- ・理学療法士によるリハビリ（リハビリ計画に基づき実施）
- ・姿勢の保持（クッションなどを使用した姿勢の保持 等）
- ・体操やリズム遊び（ふれあい体操や音楽に合わせて体を動かす遊び 等）
- ・感覚に特性がある児への配慮（イヤーマフの使用、別室利用などの環境設定）

### （ウ）認知・行動

- ・日付の把握や天気に関する認知の形成（絵カードでの確認 等）
- ・時間に関する認知の形成（朝礼や始まりの会でのタイムスケジュールの確認 等）
- ・感覚に関する認知の形成（いろいろな素材を使っでの感覚遊び 等）
- ・空間把握に関する認知の形成（ブロック遊び・ボール転がし・的当てゲーム 等）
- ・季節の変化への興味などの感性の形成（散策・季節の壁面制作・行事に合わせた遊び等）

### （エ）言語・コミュニケーション

- ・言語の獲得・聞く力の形成（絵本や紙芝居の読み聞かせ 等）
- ・言語の受容・表出支援（始まりの会や帰りの会などでの発言機会・お当番 等）
- ・言語に特性がある児への配慮（絵カードや文字盤を使ったコミュニケーション）

## **(オ) 人間関係・社会性**

- ・アタッチメント形成（スキンシップ遊び 等）
- ・他者との関わりの形成（ごっこ遊びやレクリエーション 等）
- ・共同遊びへの支援（チーム分けやルールのある遊び 等）
- ・地域活動への参加（ゴミ拾い活動 等）
- ・社会資源の活用（公園や図書館等公共施設での活動 等）